

欧州自動車産業ニュース

No. 953

2024年10月25日号



現代モービス、スロバキアにEV部品工場
PEシステム生産、25年下半期に完成予定

EU新車販売、9月は6.1%減少

メルセデスベンツ、バッテリー・リサイクル工場を開設

セルインパクト、チタン製フロープレートを受注

© European Community

* PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

1. 本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
2. 本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

EU新車販売、9月は6.1%減少..... 4

企業情報

自動車メーカー

メルセデスベンツ、バッテリー・リサイクル工場を開設 7
英JLR、経営幹部の顔ぶれを刷新 8

部品メーカー

現代モービス、スロバキアにEV部品工場を建設 9
独ZF、英ソリハルに800V専用のテスト施設を開設 9
セルインパクト、チタン製フロープレートを受注 10
タタ製鉄、ポート・タルボット製鉄所に伊テノーヴァの電気炉導入 10
伊ブレーキ大手ブレンボ、高級サスペンションのオーリンズを買収 10

クローズアップ

EnerConnect 11

欧州自動車短信

MANTトラック・アンド・バス、ライフ (Lhyfe) 、ダイムラー・バスズ..... 12

一般・その他

EUのサイバーセキュリティ対策強化、加盟国の足並みそろわず	13
EUのデジタル市場法、Xは規制対象外	13
EUがイランに追加制裁、露へのミサイルなど提供で	14

テクノロジー・トレンド

仏ヴァレオと蘭ヒア、パリモーターショーでVSS 360新バージョンを公開	15
--	----

目で見る欧州自動車産業ニュース

欧州連合(EU)、新車登録:乗用車 燃料別 2024年9月	16~17
-------------------------------------	-------

企業名索引.....15

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取組みたいと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950 Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

EU 新車販売、9月は6.1%減少

欧州自動車工業会（ACEA）は22日、欧州連合（EU）の2024年9月の乗用車新車販売（新車登録）が80万9,163台となり、前年同月に比べ6.1%減少したと発表した。1～9月の累計は、前年同期比0.6%増の798万9,776台だった。

9月の主要国の登録台数は、スペイン（6.3%増）が前年同月を上回ったものの、フランス（11.1%減）、イタリア（10.7%減）、ドイツ（7.0%減）の3カ国は前年同月を下回った。

■ ハイブリッド車、9月の市場シェアでガソリン車を抜いて最大に

燃料別では、ハイブリッド車の9月の新車登録が前年同月比12.5%増の26万5,724台となり、市場シェアは32.8%（2023年9月：27.4%）と、ガソリン車を抜いて最大となった。

電気自動車は9月が前年同月比9.8%増の13万9,702台となり、市場シェアを17.3%（2023年9月：14.8%）に拡大したものの、1～9月の累計は、前年同期比に比べ5.8%減少し、市場シェアを13.1%（2023年1～9月：14%）に縮小した。ドイツの大幅な減少（前年同期比28.6%減）が響いている。

プラグインハイブリッド車は、9月の新車登録が前年同月比22.3%減の5万4,889台となり、市場シェアを6.8%（2023年9月：8.2%）に落としている。

ガソリン車は、9月が前年同月比17.9%減の24万805台で、市場シェアは29.8%（2023年9月：34%）に縮小した。ディーゼル車も、前年同月比23.5%減の8万4,408台と大幅に減少しており、市場シェアは10.4%（2023年9月：12.8%）に落ち込んでいる。

■ EU 31カ国、9月は4.2%減

ACEAによると、EU27カ国にアイスランド、ノルウェー、スイスおよび英国を加えた欧州31カ国の9月の新車登録は111万8,083台となり、前年同月に比べ4.2%減少した。1～9月の累計は、前年同期比1.0%増の977万9,605台だった。

（5～6頁の表参照）

燃料別のグラフは【目で見える欧州自動車産業ニュース】16～17頁に掲載）

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「**クリッピング**」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々1,000～3,000ユーロから



新車登録：国別動向

国	2024年	前年同月比 (%)	2024年	前年同期比 (%)
	9月		1～9月	
オーストリア	19,894	0.3	191,023	4.4
ベルギー	31,676	-18.6	356,568	-4.9
ブルガリア	2,522	-14.9	32,393	18.4
クロアチア	4,197	12.4	52,748	12.0
キプロス	1,341	-12.1	12,304	6.2
チェコ	18,242	6.0	171,997	2.6
デンマーク	15,565	4.6	126,298	1.9
エストニア	2,125	22.6	15,827	-9.3
フィンランド	4,601	-38.5	55,500	-19.1
フランス	139,002	-11.1	1,265,902	-1.8
ドイツ	208,848	-7.0	2,116,074	-1.0
ギリシャ	9,661	-15.3	108,035	3.4
ハンガリー	9,074	-0.5	89,052	7.3
アイルランド	5,124	-10.5	117,248	-1.4
イタリア	121,725	-10.7	1,202,447	2.1
ラトビア	1,409	-1.1	13,085	-13.1
リトアニア	2,581	14.5	22,169	2.6
ルクセンブルク	3,620	-6.7	35,917	-5.5
マルタ	581	55.3	5,938	6.9
オランダ	31,235	5.1	279,883	-2.4
ポーランド	41,461	6.1	398,631	13.8
ポルトガル	15,053	6.9	157,842	2.9
ルーマニア	8,975	-14.9	115,509	4.3
スロバキア	7,321	-7.8	68,292	-0.9
スロベニア	4,461	10.1	41,005	6.8
スペイン	73,144	6.3	744,698	4.7
スウェーデン	25,725	-8.6	193,391	-7.9
EU合計	809,163	-6.1	7,989,776	0.6
アイスランド	560	-50.6	8,211	-40.7
ノルウェー	12,966	25.4	91,794	-3.9
スイス	20,155	-6.6	175,730	-3.9
EFTA	33,681	1.9	275,735	-5.6
英国	275,239	1.0	1,514,094	4.3
EU+EFTA+UK	1,118,083	-4.2	9,779,605	1.0

出所：各国自工会；ACEA

新車登録：メーカー別動向（EU）

	9月				1~9月			
	シェア(%) ⁽¹⁾		台数	変動率	シェア(%) ⁽¹⁾		台数	変動率
	2024年	2023年			2024年	2023年		
VW グループ	26.8	25.0	216,577	0.3	26.4	26.2	2,110,036	1.2
フォルクスワーゲン	11.0	10.5	88,797	-1.7	10.9	11.1	867,989	-1.2
シュコダ	6.9	5.5	55,749	17.3	6.0	5.4	478,883	10.9
アウディ	4.9	5.1	39,502	-9.6	4.9	5.4	392,349	-9.0
セアト	1.8	1.7	14,590	0.3	2.2	2.0	174,104	7.0
クブラ	1.5	1.7	12,305	-14.8	1.7	1.5	132,268	8.3
ボルシェ	0.7	0.6	5,308	5.7	0.7	0.7	59,792	12.4
その他 ⁽²⁾	0.0	0.0	326	-14.4	0.1	0.1	4,651	-7.4
ステランティス	14.9	19.2	120,582	-27.1	17.2	18.4	1,375,156	-5.9
プジョー	5.6	5.5	44,922	-4.6	5.4	5.7	428,828	-4.5
シトロエン	2.2	3.8	17,841	-45.6	3.3	3.3	261,707	0.8
オベル/ポクソール	3.0	3.6	24,230	-22.0	3.3	3.5	260,717	-4.9
フィアット(アバルトを含む)	2.1	3.6	17,222	-45.2	3.0	3.5	239,011	-13.3
ジープ	1.2	1.3	9,337	-15.9	1.1	1.1	91,853	1.8
アルファロメオ	0.4	0.4	3,003	-18.3	0.4	0.4	31,171	-12.4
ランチア/クライスラー	0.1	0.4	1,080	-71.6	0.4	0.4	30,144	-10.3
DS	0.3	0.4	2,604	-30.7	0.3	0.5	27,852	-24.2
その他 ⁽³⁾	0.0	0.1	343	-42.5	0.0	0.1	3,873	-34.8
ルノー・グループ	10.9	10.4	88,149	-1.5	10.7	10.8	858,240	-0.2
ルノー	6.4	5.9	52,108	3.1	5.7	5.9	458,011	-1.9
ダチア	4.4	4.5	35,874	-7.4	5.0	4.9	397,500	1.8
アルピーヌ	0.0	0.0	167	-19.3	0.0	0.0	2,729	18.3
現代グループ	7.8	8.2	62,807	-11.4	8.0	8.5	637,851	-5.1
現代	3.8	3.7	30,622	-3.5	4.1	4.1	323,989	0.3
起亜	4.0	4.5	32,185	-17.8	3.9	4.4	313,862	-10.1
トヨタ・グループ	7.8	6.9	62,879	5.1	7.9	6.9	634,159	16.4
トヨタ	7.1	6.5	57,837	3.0	7.4	6.5	592,815	15.4
レクサス	0.6	0.4	5,042	35.9	0.5	0.4	41,344	33.8
BMWグループ	7.6	6.6	61,468	7.6	6.6	6.6	528,343	0.5
BMW	6.2	5.5	49,937	6.0	5.7	5.4	456,971	7.0
ミニ	1.4	1.2	11,531	15.6	0.9	1.2	71,372	-27.3
メルセデスベンツ	6.1	6.1	48,972	-7.3	5.2	5.4	413,995	-3.6
メルセデス	6.0	5.9	48,932	-4.4	5.0	5.2	403,035	-1.7
スマート	0.0	0.2	40	-97.6	0.1	0.2	10,960	-44.0
フォード	3.2	3.3	25,989	-9.8	3.0	3.5	236,081	-15.3
ボルボ	2.3	1.9	18,994	16.1	2.7	2.0	216,650	38.9
テスラ	3.9	2.8	31,555	31.2	2.4	2.6	187,932	-7.6
日産	1.6	1.9	12,834	-20.3	1.9	1.8	152,776	5.2
スズキ	1.7	1.8	13,846	-11.5	1.7	1.4	138,026	20.0
上海汽車集団(SAIC MOTOR)	1.3	1.6	10,322	-25.6	1.4	1.3	115,349	14.2
マツダ	1.3	1.6	10,534	-24.0	1.3	1.4	104,269	-4.6
ジャガー・ランドローバー	0.5	0.7	4,417	-30.7	0.6	0.7	48,378	-8.1
ランドローバー	0.5	0.6	4,092	-23.3	0.5	0.6	43,847	-1.6
ジャガー	0.0	0.1	325	-68.8	0.1	0.1	4,531	-43.6
三菱自	0.4	0.4	3,178	-13.8	0.6	0.4	45,399	59.5
ホンダ	0.4	0.5	3,188	-19.0	0.4	0.3	30,427	33.6

(1)ACEA推定値

(2) VWグループ：その他にはベントレー、プガッティ、ランボルギーニ、MANが含まれる。

(3)ステランティス：その他にはダッジ、マセラティ、RAMが含まれる。

出所：ACEA加盟企業；ACEA

<AI22313>

企業情報

■自動車メーカー■

メルセデスベンツ、バッテリー・リサイクル工場を開設

独自動車大手のメルセデスベンツは 21 日、ドイツ南西部のクッペンハイムに建設したバッテリー・リサイクル工場の開所式を行った。機械式と湿式製錬を統合した工場で、材料の回収率は 96%以上が見込まれている。

同工場への投資は数千万ユーロ。処理能力は 2,500 トン。回収された材料は、メルセデスベンツの純電気自動車に搭載する年 5 万基を超えるバッテリーモジュールの生産に使用される。メルセデスベンツは、同工場で得られた知見に基づいて、中長期的に処理能力を拡大することも視野に入れている。

機械式の工程では、樹脂、銅、アルミニウム、鉄を選別し、下流の湿式製錬プロセスでは、バッテリーセルの電極を構成する活物質であるコバルト、ニッケル、リチウムを抽出する。湿式製錬は、摂氏 80 度までの低いプロセス温度で処理するため、乾式精錬に比べ、エネルギー消費が少ないほか、廃棄物量も少ない利点がある。

また、同工場は、再生可能エネルギーを使用したカーボンニュートラルの工場となっている。6,800 平方メートルの広さの建物の屋上には、太陽光発電システムが設置されている。



出所: Mercedes-Benz

<AI22314>

英 JLR、経営幹部の顔ぶれを刷新

英高級車メーカーのジャガーランドローバー（JLR）は15日、新しい3人の経営幹部を発表した。自動車業界で加速する変革に対応するための人選となる。

車両プログラム担当にはグローバル製造オペレーションディレクターのスティーブ・マーシュ氏を統括責任者に任命した。自動車業界で36年のキャリアを持つ同氏は2022年4月から日産自動車でサプライチェーンの責任者を務めていた。

最高戦略責任者には、機械エンジニアで前職がマッキンゼーのスワルナ・ラマナサン氏が就任。戦略立案と戦略的見通し、提携やコラボレーション、イノベーションなどの各チームを率いる。なお、8月に同役職に就いたばかりのアンドレア・デバネ氏は最高サステナビリティ責任者に就任する。

最高変革・パフォーマンス責任者にはジョン・ベスウィック氏が就く。半導体エンジニアの同氏は英通信最大手のBTグループで20年のキャリアを持つ。

<AI22315>

Information Broker Service

私たちは情報を迅速に探し出すスペシャリストです

FBCでは長年の調査業務ノウハウを活用して
広範囲な情報検索サービスを提供しています



プレスリリース

特定テーマに関する各界の評価
政府の統計データ・公式見解など



情報検索

官報・広報・特許・学術文献
調査レポート・書籍など



問合せや訪問予約の アレンジメント

産業団体・関係当局・専門家
各所への問い合わせなど

検索料金は**250**ユーロ+VATから

お問い合わせはFBCカスタマーサポート +49-(0)69-5480950 info@fbc.de まで

■部品メーカー■

現代モービス、スロバキアにEV部品工場を建設

韓国自動車部品大手の現代モービスは15日、電気自動車（EV）の主要部品であるPE（パワーエレクトロニクス）システムを生産する新工場の建設について、スロバキア政府と投資協定を締結した。これに加え、ジリナにある既存工場内にEV用のブレーキシステムなどの生産施設を建設する計画も発表した。新しいEV部品工場の建設により、欧州における保護主義の強まりに対応するとともに、欧州EV市場におけるプレゼンスを強化する。同社にとって欧州では、チェコ、スペインに続くEV部品工場となる。

PEシステムは、電気モーターとインバーターを組み込んだ統合駆動装置。新工場は、スロバキア西部のノヴァキ（Novaky）に建設する。2025年下半期に完成する予定。ノヴァキ工場のPEシステムの生産能力は年30万ユニットとなっている。

新工場への投資総額は約3,500億ウォンで、建設投資は約2,500億ウォン。工場の面積は約10万5,700平方メートル（サッカーコート14面分に相当）。これに加え、ジリナ工場内に建設するブレーキシステムおよびエアバックの生産施設の建設に950億ウォンを投資する。

同社はチェコですでにバッテリーシステムを生産しており、スペインでは現在、バッテリーシステム工場を建設している。世界の自動車メーカーがEVシフトの速度を見直す傾向にある中で、中国に続き世界で2番目の規模である欧州では堅調な成長が見込めると判断し、新工場の建設を決めた。

現代モービスはスロバキアでは、2004年に設立した子会社（MSK）のほか、ジリナにモジュール工場を持つ。

<AI22316>

独ZF、英ソリハルに800V専用のテスト施設を開設

独自動車部品大手のZFは14日、英バーミンガム近郊ソリハルの研究開発拠点に、800ボルト（V）電圧システムの試験施設を開設したと発表した。同国の先進推進システム技術センター（APC）の支援を得て設立されたもので、ZFにとり初の800V専用の研究施設となる。

電気自動車（EV）の大半が採用している400Vシステムは、航続可能距離を200キロメートル確保するために約20分の充電時間が必要となる。800Vではこの時間が約半分に短縮されるほか、システム構成も小型化・軽量化できるため、全体的な効率が高まる。さらに炭化ケイ素（SiC）を使用したSiC-MOSFET（金属酸化膜半導体電界効果トランジスター）と組み合わせることで効率は最大10%向上するとされ、最終的にバッテリーの小型化や走行距離の延長につながる。

同施設ではすでに、ZFの商用車ソリューション（CVS）部門がトラックやバス向けに新しい燃料電池コンプレッサーや水素循環ブローのテストを行っている。

<AI22317>

セルインパクト、チタン製フロープレートを受注

燃料電池や電解装置向けのフロープレートを製造するスウェーデンのセルインパクトは 22 日、既存顧客とチタン製フロープレートの供給について合意したと発表した。受注規模は 60 万スウェーデンクローナで、2024 年 11 月の納品を予定している。

今回の合意は、これまでのプロトタイプ・シリーズに続くものとなる。セルインパクトのダニエル・ヴァリン最高経営責任者（CEO）は今回の合意について、「当社のビジネスがどのように進展しているかを明確に示している。テストツールとプロトタイプ・シリーズは、フロープレートを供給できるようにするためのプロセスにおいて必要なステップだ。今回の受注は当社がチタン製プレートを提供できることを示すという点においても重要だ」とコメントしている。

<AI22318>

タタ製鉄、ポート・タルボット製鉄所に伊テノーヴァの電気炉導入

インドの鉄鋼大手のタタ製鉄は 18 日、英サウスウェールズ州にあるポート・タルボット製鉄所の近代化事業で、伊炉体大手テノーヴァと電気アーク炉（EAF）をはじめとする設備導入で契約を結んだと発表した。2027 年末の稼働開始後は、同製鉄所での二酸化炭素（CO₂）排出量が 90%、年間 500 万トン相当が削減できる。総投資額は 12 億 5,000 万ポンドで、タタが 7 億 5,000 万ポンド、政府が最大 5 億ポンドを負担する。

EAF は電極間に発生する電気アークを利用してスクラップを溶かす。テノーヴァが供給する EAF は英国内の鉄スクラップを年 200 万～250 万トン（自動車約 250 万台に相当）リサイクルする予定。

タタ製鉄は別途、取鍋精錬炉（LF）や熱間圧延機向けの新しいコイルボックスを発注する。テノーヴァの LF は 1 時間あたり 450 トンの溶鋼を生産できる。

ポート・タルボット製鉄所では、現行の高炉が寿命を迎えつつあるため、電気炉への転換が計画されていた。これに合わせて、電気炉で使う鉄スクラップの国内調達を進めることで経済循環性を高め、サウスウェールズ州におけるグリーンテクノロジー産業のエコシステム構築を促進する狙いがある。

<AI22319>

伊ブレーキ大手ブレンボ、高級サスペンションのオーリンズを買収

伊ブレーキシステム大手のブレンボは 11 日、高級サスペンションメーカーのオーリンズ（スウェーデン）を完全買収すると発表した。二輪車と自動車市場向けに高性能サスペンションのラインナップを拡充するのが目的。取引額は 4 億 500 万米ドルで、同社にとり過去最大の買収案件となる。当局の承認を経て 2025 年初頭の取引完了を見込む。

オーリンズは MotoGP、F1、NASCAR など著名なレースのサプライヤーとして知られる。スウェーデンとタイにそれぞれ工場と研究開発施設を持つ。米国とドイツの拠点を合わせた従業員数は約 500 人。

ブレンボのマッテオ・ティラボスキ取締役会長は、「オーリンズを当社のグループに加えることは自動車市場向け製品を拡充する絶好の好機だ。これにより生まれる部門間の相乗効果を活用し、顧客に対し総合的なインテリジェント・ソリューションを提供していく」と述べた。

ブレンボはモータースポーツ分野への投資を強化している。2021 年にはデンマークの SBS フリクションとスペインの J.Juan を買収し、二輪車用ブレーキシステムソリューションのラインナップを拡充。今年 2 月にはオートバイメーカー向けのブレーキシステム専用工場をタイに開設した。二輪車事業は現在、ブレンボの総収益の約 13% を占めている。

<AI22320>



EnerConnect

窒化ガリウム (GaN) を使用した双方向ブロッキング・トランジスタに関するドイツの研究開発プロジェクト。フラウンホーファー・信頼性・マイクロインテグレーション研究所 (IZM) とベルリン工科大学が参加するほか、ドイツ連邦教育・研究省、民間企業の Delta Electronics、BIT、Infineon Technologies が協力している。

電気自動車を充電する際、電力網から供給される交流の電力が車両で使用される直流に変換される際に、充電損失が発生する。当該プロジェクトでは、双方向ブロッキング GaN トランジスタの使用により、一般世帯における電気自動車の充電エネルギー効率が向上し、より短時間で充電できるようになると見込んでいる。

電気自動車用のアクティブ整流器にはすでに、窒化ガリウム (GaN) または炭化ケイ素 (SiC) を使用した半導体を使用されているが、これらは一方向の電圧しか遮断することができない。これに対し、双方向ブロッキング GaN トランジスタでは、2つのゲート構造により、正と負の電圧をブロックすることができる。

当該プロジェクトで開発している新しい回路は、電気自動車のアクティブ整流器に接続される電圧を低く設定することが可能なため、スイッチング電圧が低下し、電力コンバーターのスイッチング損失が減少する。

また、整流器では通常、入力電圧を2つの別々のコンポーネントで上げてから、必要なバッテリー電圧まで再び下げる必要があるが、双方向ブロッキング GaN トランジスタの使用により、これらの2つのステップを1つのステップに組み合わせることができ、材料やコストを削減しながら効率を向上させることができる。

これらの2つの効果により、コンバーターの変換効率を99%に引き上げることができる。また、新しい回路の使用により、スイッチング周波数と電力密度の向上も可能と見られており、当該プロジェクトでは、スイッチング周波数で300kHzを目標にしている。これにより、電力密度が現行の商用充電器の8倍に増加する可能性がある。

プロジェクトの実施期間は、2024年2月1日～2028年1月31日まで。40万ユーロの資金支援を受けており、うち、ドイツ連邦教育・研究省が80%を、残りの10%ずつをDelta Electronics、BITが拠出している。また、Infineon Technologiesは、双方向ブロッキング GaN トランジスタをプロジェクトに提供している。

欧州自動車短信

■ 独商用車大手の **MANトラック・アンド・バス** は 16 日、オランダのロイヤル・スキポール・グループから電気バス「Lion's City 12 E」52 台を受注したと発表した。2025 年に最初の電気バスの出荷を開始する予定。ロイヤル・スキポール・グループは、MAN の電気バスをアムステルダム・スキポール空港におけるターミナルと航空機間の旅客や乗務員の輸送に使用する。同社は 2030 年までにスキポール空港の運営における二酸化炭素(CO2)排出量をゼロにする目標を掲げている。スキポール空港に供給する電気バスは、全長 12 メートルで、最大 107 人を輸送することができる。出来るだけ多くの旅行者を輸送できるように、座席数を少なくし、手荷物を持った乗客が立って乗車するスペースを広くしている。



出所:MAN

■ グリーン水素の製造・販売を事業とする **仏ライフ(Lhyfe)** は 24 日、水素充填ステーションの開発や事業者向けのフリート管理を事業としている仏 HysetCo にグリーン水素を供給すると発表した。7 月に締結した契約に基づいて、7 月 15 日からすでに、コレジアン(イル・ド・フランス地域圏)にある仏小売大手カルワールの拠点にある水素充填ステーションにグリーン水素を供給している。契約期間はさしあたり 18 カ月となっており、当該期間中に 45 トン以上(走行距離で週約 6 万キロメートルに相当)のグリーン水素を供給する。

■ 独自自動車大手の **ダイムラー・トラック** は 22 日、バス部門 **ダイムラー・バスズ** がイタリアの首都ローマの交通会社アウトセルヴィツィ・トロイアーニからメルセデスベンツの電気バス「e シタロ」を計 110 台、受注したと発表した。2026 年半ばまでに納車を完了する予定。最初の 10 台はすでに納車しており、ローマ東部の路線バスの運行に投入されている。110 台のうち、65 台にはリチウムイオン電池「NMC3」が搭載されており、1 回のフル充電で最大 280 キロメートルを走行することができる。残りの 45 台には、次世代の電池「NMC4」が搭載される。アウトセルヴィツィ・トロイアーニは 2024 年初め、メルセデスベンツのハイブリッドバス「シタロ・ハイブリッド」40 台も調達している。



<AI22321>

出所:Daimler Truck

一般・その他

EUのサイバーセキュリティ対策強化、加盟国の足並みそろわず

欧州連合（EU）で18日から、域内全体でサイバーセキュリティ対策を強化する「ネットワークと情報セキュリティに関する（NIS）指令」を改正した「NIS2」指令の履行を全加盟国が求められることになった。ただ、必要な国内法の整備を終えていない国が多く、EUが一丸となつての対策強化は遅れそうだ。

2016年に発効したNIS指令は、EU全体で足並みをそろえ、サイバーセキュリティ対策を強化するのが目的。エネルギーや金融サービスといった重要セクターの大手企業やインターネット関連企業に、十分なセキュリティ対策を講じるよう求めるほか、情報漏えいやシステム障害など重大な問題が発生した場合に当局への報告を義務づけるのが柱。

EUはデジタル化が進み、巧妙な手口のサイバー攻撃が多発するようになったため、欧州委員会がルールを厳しくするNIS2指令案を発表し、同指令は23年1月に発効した。

NIS2指令では、対象の事業体を大きく拡大する。また、業種、サービスごとに守るべきルールを厳格化する。

加盟国は24年10月17日までに国内法を整備し、同指令を履行することが求められていた。しかし、多くの国で法整備が遅れており、ポルトガルとブルガリアは作業に着手さえしていない状態だ。このため、欧州委は各国に早急に対応するよう働きかけている。

<AI22322>

EUのデジタル市場法、Xは規制対象外に

欧州委員会は16日、巨大IT企業に対する欧州連合（EU）の規制「デジタル市場法（DMA）」について、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）のプラットフォームを運営する米X（旧ツイッター）は規制対象外になると発表した。

ITサービス市場での公正な競争を促すDMAでは、「ゲートキーパー（門番）」と呼ばれる巨大プラットフォームに指定した事業者に対して、他社のサービスを排除したり、自社サイトで自社の製品やサービスを優遇するといった行為を禁止するのが柱。3月17日に全面施行された。

ゲートキーパーは時価総額が750億ユーロ以上、EU域内のサービス利用者が月間4,500万人以上といった要件を満たす事業者が対象。米グーグルの親会社アルファベット、アップル、アマゾン・ドット・コム、マイクロソフトなどが指定されている。Xはゲートキーパーに該当しないと主張し、これまで規制が適用されていなかった。

欧州委は規制適用の可否をめぐる調査を3月から進め、関係各方面やデジタル市場諮問委員会の意見を聞きながら精査した結果、同社のSNSサービスは利用者数などがゲートキーパーの基準に達しているものの、「（欧州の）事業者、消費者間の重要なゲートウェイには当たらない」と判断。XのSNSプラットフォームはゲートキーパーに該当しないと結論付けた。

Xは違法コンテンツの排除に主眼を置いたEUの「デジタルサービス法」では、巨大プラットフォームに指定され、厳格な規制が適用されている。

<AI22323>

EU がイランに追加制裁、露へのミサイルなど提供で

欧州連合（EU）は14日、ウクライナに軍事侵攻するロシアにイランがミサイルなどを提供しているとして、同国に新たな制裁を科すことを決めた。

加盟国が同日に開いた外相理事会で追加制裁に合意した。対象となるのは7社・団体と7人の個人。ウクライナでの戦闘に使われる弾道ミサイルや無人機（ドローン）、その部品の提供に関与したとして、制裁を科す。

7社・団体にはイラン航空を含む航空3社が含まれる。ドローンと部品をロシアに空輸したとして制裁対象となった。

個人はガランダリ国防軍需副大臣やイラン革命防衛隊の幹部など。EU加盟国内に保有する資産を凍結し、EU域内への渡航を禁止する。EU域内の企業は、制裁対象との取引が禁止となる。

<AI22324>

FBCのロングリスト調査は



- ① 貴社の案件に合う対象企業をヨーロッパ全土から探します
- ② 全ての企業に貴社のプレゼン資料を送付
- ③ その後メール・電話で興味の有無を1件1件確認します

新たな **ビジネスパートナー** を探します

FBCのショートリスト調査は



- ① ロングリスト調査の結果、興味・関心を示した企業の担当者を割り出します
- ② 当該企業の主な取引先や競合他社などのデータも入手します
- ③ ショートリストとして提出します

このデータをもとに **即営業を開始** できます



テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

仏ヴァレオと蘭ヒア、パリモーターショーで VSS 360 新バージョンを公開

仏自動車部品大手のヴァレオは 14 日、今年のパリモーターショー（10 月 14 日～ 20 日）で、提携する
蘭デジタル地図大手のヒア・テクノロジーズとナビゲート・オン・パイロット（NOP）機能を統合した先進運転支援
システム（ADAS）「ヴァレオ・スマートセーフティ 360」（VSS 360）の新バージョンを公開すると発表した。ヴァ
レオのシステムにレベル 2 プラス（L2+）の自動運転機能を持つ NOP を組み込んだもので、自動車 OEM は
エントリーモデルから運転支援や駐車支援機能を提供できるようになる。

VSS 360 はレベル 2（L2）と L2+の自動運転に対応する運転支援機能を統合している。ヴァレオのハー
ドウェアとソフトウェアの専門知見を生かし、車両アーキテクチャへの影響を最小限に抑えながら、安全性や各
種支援機能を効率的に提供できる。システムの中核となるスマート・フロントカメラは、最大 6 台の車載カメラと
5 台のレーダー、12 台の超音波センサーおよび関連ソフトに接続できる。この拡張性の高さにより、様々な種
類のセンサーを統合できるため、メーカーは個別の制御装置が不要になりコストと効率を最適化できる。

VSS 360 は欧州連合（EU）の道路安全規制「一般安全規則（GSR）」および欧州の自動車アセスメ
ント（NCAP）に準拠している。

<AI22325>

■ 企業名索引

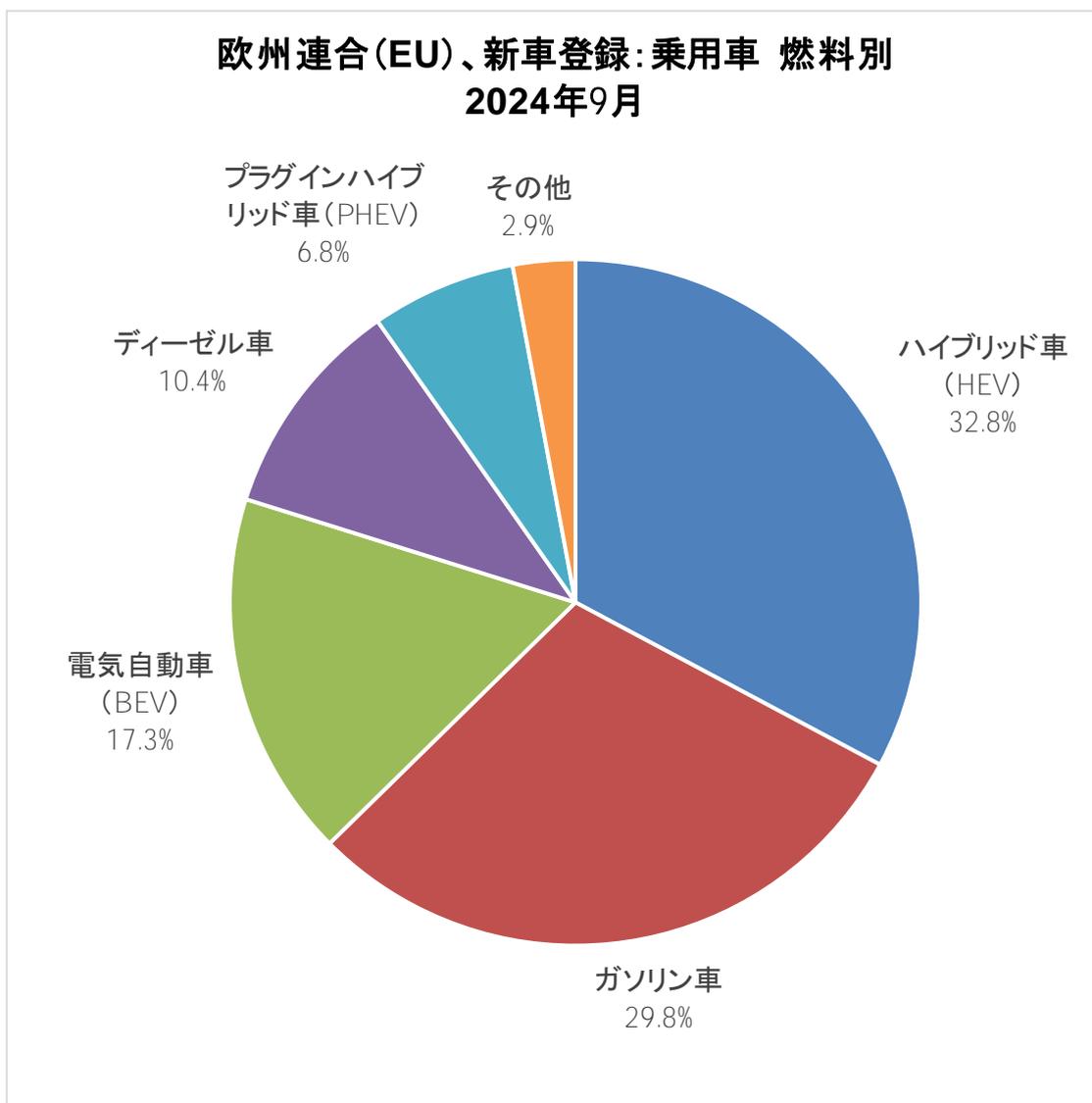
今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

Index

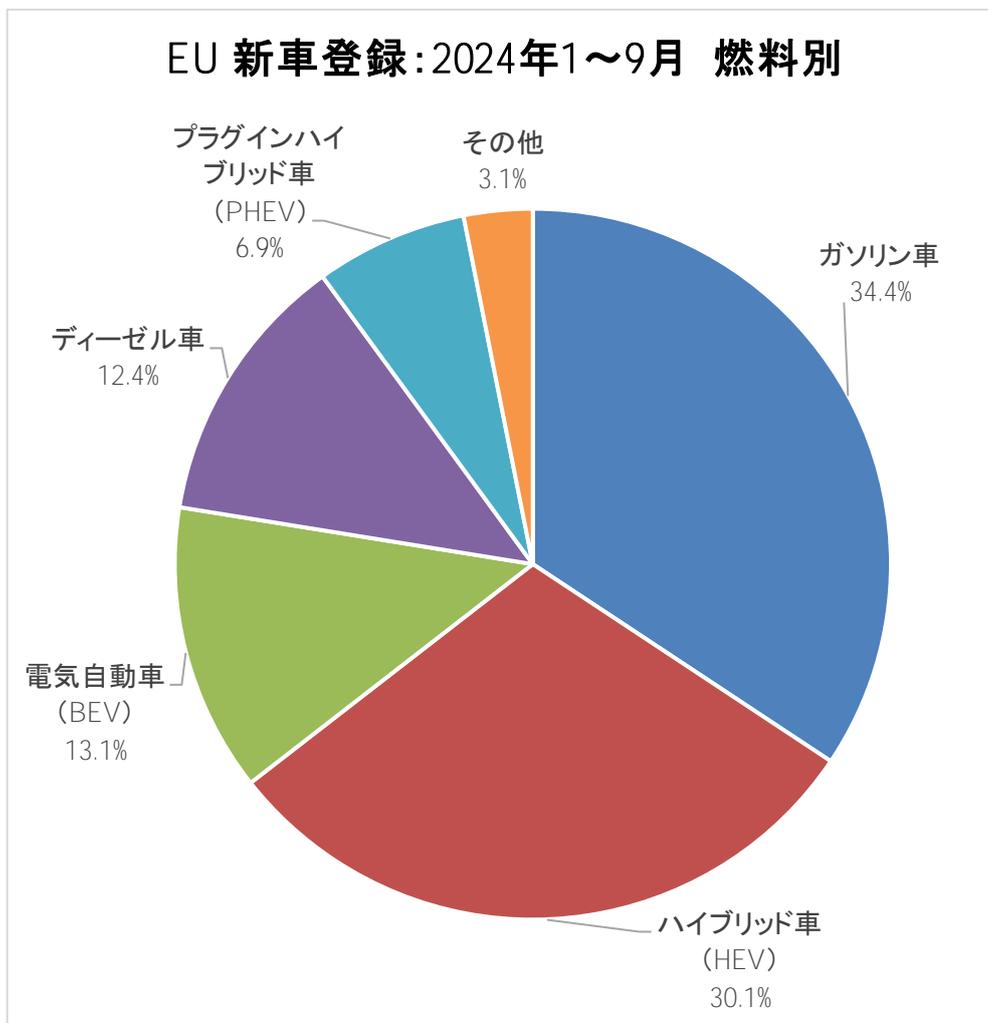
企業名	掲載頁	企業名	掲載頁
Brembo	10	MAN.....	12
Cell Impact.....	10	Mercedes-Benz.....	7
Daimler Truck.....	12	Tata Steel.....	10
Here.....	15	Valeo	15
Hyundai Mobis	9	ZF Friedrichshafen	9
Jaguar Land Rover	8		
Lhyfe.....	12		

目で見える欧州自動車産業ニュース

欧州連合(EU)、新車登録:乗用車 燃料別 2024年9月



出所:各国自工会;ACEA



出所: 各国自工会; ACEA

<AI22326>